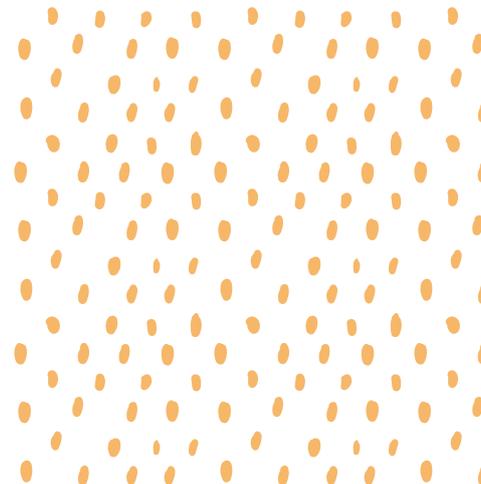
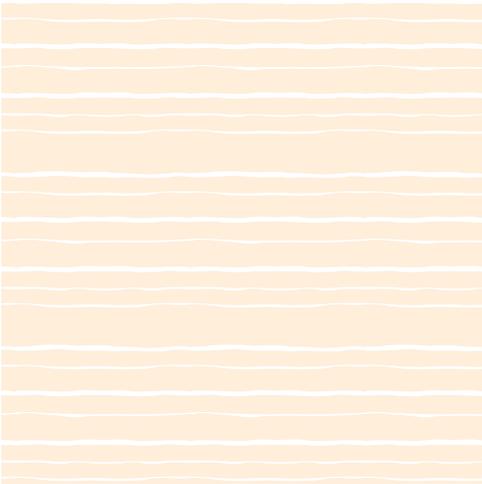


私たちが実現させる 「男女共同参画社会」

～安城市男女共同参画啓発パンフレット～



男女共同参画が推進されることで、
「男は仕事、女は家庭」といった、固定的な性別役割分担にとらわれず、
男性も女性も、意志に応じて、
あらゆる分野で活躍できるようになります。
男女共同参画社会が実現することは、
一人ひとりの豊かな人生につながります。



1 安城市民の意識と実態

2016年(平成28年)に、男女共同参画に関する市民の意識や男女の平等・社会参加の実態等を調査するため、市民、企業、高校生、町内会への各種アンケート調査を実施しました。

調査対象と回収状況

- 市民 : 20歳以上の男女各1,000人を無作為抽出(回収数939、回収率47.0%)
- 企業 : 市内業者500社を無作為抽出(回収数243、回収率48.6%)
- 高校生 : 市内の高校5校からクラスごとに253人を抽出(回収数253、回収率100.0%)
- 町内会 : 市内79町内会の会長(回収数68、回収率86.1%)

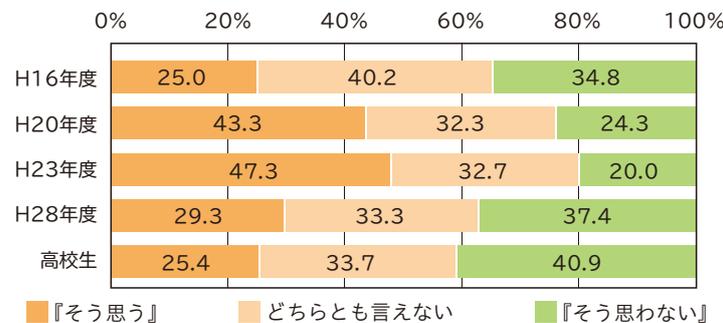
(1) 固定的な性別役割分担意識やワーク・ライフ・バランス^{※1}について



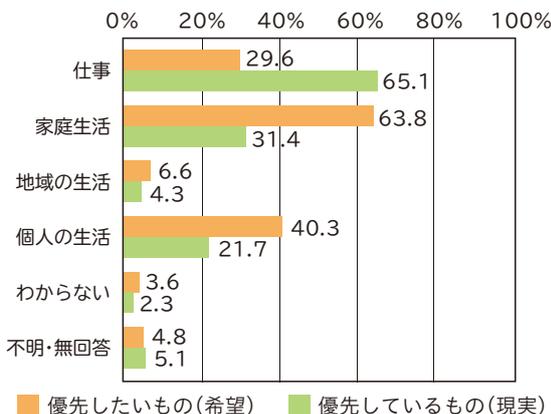
固定的な性別役割分担に反対する割合が増加していますが、実態ではまだ女性の家事・育児負担の多さなどの現状が見られます。また、男性は「仕事」を優先する生活スタイルになっており、「家庭生活」の優先を希望しても実現できていません。

- 「男性は外で働き、女性は家庭を守る方がよい」という、固定的な性別役割分担に対する考え方について、『そう思う』割合が減少しています。
- 平日の平均的な家事時間については、男女で大きな差がみられます。
- 生活での優先状況を現実と希望の両面からたずねたところ、特に男性で「家庭生活」の優先を希望していても実現できていない状況にあります。

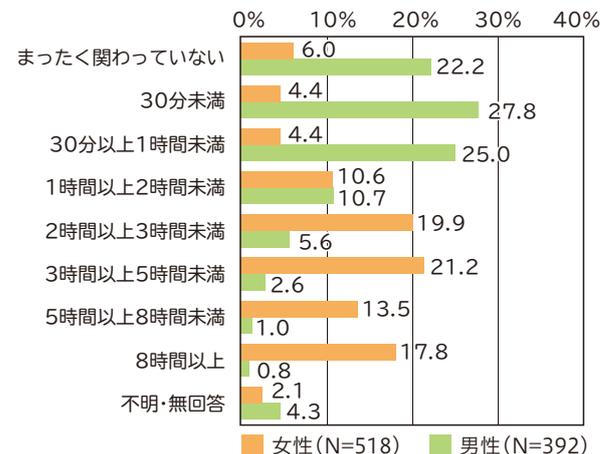
●男性は外で働き、女性は家庭を守る方がよい(市民調査)



●男性の生活の現実と希望の優先分野の比較(市民調査)



●平日1日あたりの平均家事時間(市民調査)



※1 ワーク・ライフ・バランス…老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、さまざまな活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態のこと。

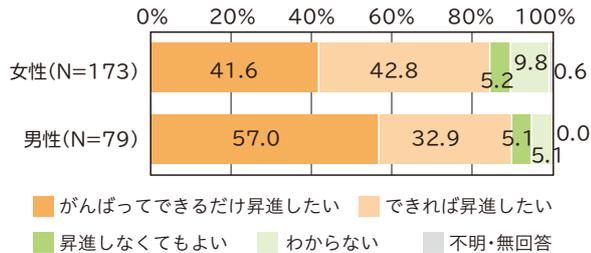
(2) 女性の活躍について



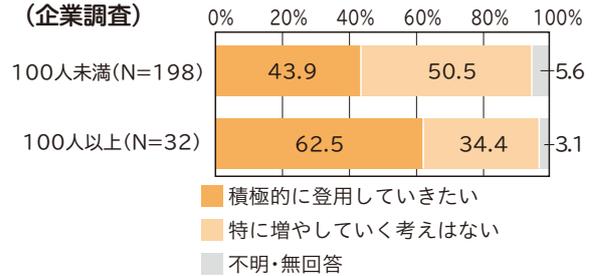
女性の管理職・役職への登用は今後増えていくことが見込まれ、女性自身のエンパワーメント^{※2}や男性も含めた意識や働き方の改革、ワーク・ライフ・バランスの推進が求められます。

- 高校生調査において、将来の就職先での昇進に前向きな回答が女性で84.4%、男性で89.9%みられます。
- 企業調査の結果からは、今後、女性の積極登用を進めようとする動きがみられます。

● 将来の昇進の意向 (高校生調査)



● 今後、女性を積極的に管理職に登用しようと思うか (企業調査)



※2 エンパワーメント…力をつけること。また、自ら主体的に行動することによって状況を変えていこうとする考え方のこと。

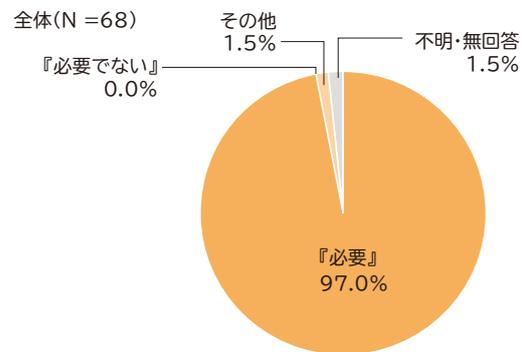
(3) 地域活動について



現在の町内会の会長、副会長はほとんどが男性ですが、女性の参画が望まれています。

- 町内会調査において、会長・副会長の性別をたずねたところ、女性は副会長で5.9%となっています。
- 町内会の意思決定の立場へ積極的に女性が参加することについては、97.0%が『必要』としており、女性の参画が望まれています。

● 町内会の意思決定の立場へ積極的に女性が参加することについての考え (町内会調査)



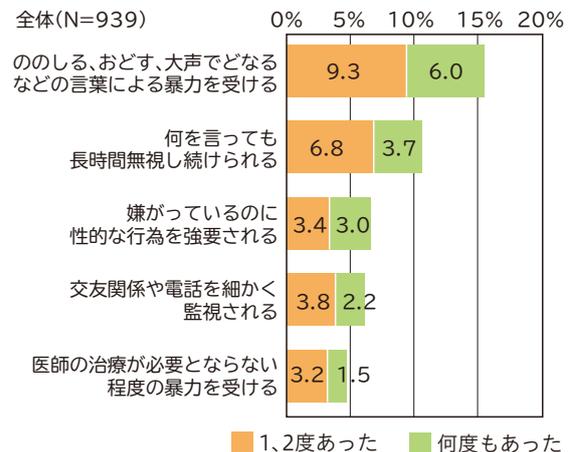
(4) DV (ドメスティックバイオレンス) について



精神的な暴力で被害経験者の割合が高く、被害者の半数は誰にも相談していません。

- 市民調査によると、男女ともに精神的暴力の被害経験が多くなっています。また、高校生調査では、彼氏・彼女から「言葉でけなされて嫌な思いをさせられた」経験が女子よりも男子で被害の割合が高くなっています。
- 暴力を受けた際の対応として、「誰にも相談しなかった」割合が高く、被害が潜在化していることが考えられます。

● DVの被害経験者の割合 (市民調査) ※多いものを抜粋





2 推進します！第4次安城市男女共同参画プラン

安城市では、2018年(平成30年)3月に、「第4次安城市男女共同参画プラン」を策定しました。このプランは、男女共同参画社会実現のための取組を総合的、計画的に推進するためのものです。

前ページで示したような課題に対し、特にプランでは次のような取組を推進していきます。

働き方の改革や男性の家庭参画の促進に向けて…



具体的な施策

●各種制度(育児休業・介護休業等)の周知

仕事と育児・介護の両立を支援するため、育児・介護休業制度、パートタイム労働法、ファミリー・フレンドリー企業^{※3}、再就職支援などの情報収集に努め、広報やチラシなどでPRし、制度などの取得・利用を促します。

●男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供

男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、講習会や学習機会の提供を行います。

●子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進

仕事と家事・育児などの両立に配慮した働き方に関する啓発等を行います。

●働き方の見直しのための啓発

企業に対し有給休暇、ノー残業デー制度などの取得を促します。

※3 ファミリー・フレンドリー企業…男女ともに仕事と家庭の両立ができる様々な制度と職場環境を持ち、それぞれのライフステージに応じた柔軟な働き方を労働者が選択できる取組を行う企業のこと。

女性の活躍推進に向けて…



具体的な施策

●職場での女性活躍に向けた啓発・情報提供

女性管理職の拡大や女性の能力の活用について、県・関係機関が開催する講座などの情報収集に努め、商工会議所会報への掲載を依頼するなど、連携して企業・事業所などへの啓発を行い、女性の積極的な参加を促します。

●女性の起業支援の実施

アンフォーレ内に設置する「安城ビジネスコンシェルジュ(通称「ABC」)」において、Anjo創業支援ファーム^{※4}やKEY PORT(キーポート)^{※5}と連携し、起業セミナーを開催します。

●女性の就労支援・再就職支援等の実施

出産・育児・介護などで退職した女性の再就職を支援するための情報の発信を行うとともに、セミナーを開催します。

●子育て支援や女性の活躍推進を行う企業への優遇策の検討

女性の活躍や子育て支援、ワーク・ライフ・バランス推進等に積極的に取り組む企業を評価する入札、契約制度の拡充を検討する。

●女性活躍推進のための講座などの開催

女性活躍推進のために職場環境を考える講座などを開催します。

※4 Anjo創業支援ファーム…安城商工会議所、碧海信用金庫、(株)日本政策金融公庫岡崎支店及び安城市で設立し、連携を図りながら創業を支援するネットワークグループ

※5 KEY PORT(キーポート)…JR安城駅にある、自分のオフィスが持てる会員専用のコワーキングスペースなどを併設した観案内所

町内会における女性参画促進に向けて…



具体的な施策

●地域団体や組織等に対する男女共同参画に関する情報・学習機会の提供

町内会などの各地域における地域団体や組織などへ積極的に男女共同参画を働きかけます。

●防災活動における男女共同参画の推進

防災会議などへの女性委員の登用や、女性の視点から考えられる避難所の備蓄品整備を推進します。

精神的DVやDVの潜在化の防止に向けて…



具体的な施策

●生徒に対するDV防止に向けた情報提供・啓発の実施

生徒向けにデートDVに関する内容のリーフレットなどを作成・配布し、周知を行います。

●DV防止に向けた情報提供・啓発の実施

DVの相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVに関する知識の普及を進めます。

●DVに関する相談対応の実施

DV被害者の早期対応を行います。

●被害者支援にあたっての関係機関との連携強化と適切な一時保護の実施

女性相談センター、児童相談センター、警察及び市の関係部署と横断的に連携をとり、被害者を適切に一時保護します。

●被害者の自立支援

DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行います。

●二次被害^{※6}の防止に向けた市役所対応の強化

女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施します。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図ります。

主な指標項目

着実にプランを推進するために、各取組に指標を設定します

指標項目	現状値 (2016)	目標値 (2023)
「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成・どちらかといえば賛成の市民の割合	女性 26.3%	女性 18.0%
	男性 33.9%	男性 32.5%
法令・条例に基づく審議会等における女性委員の割合	27.4%	30.4%
町内会長に就く女性の割合	0.0%	10.0%
DV 被害経験者のうち、「誰にも相談しなかった」人の割合	52.5%	50.6%

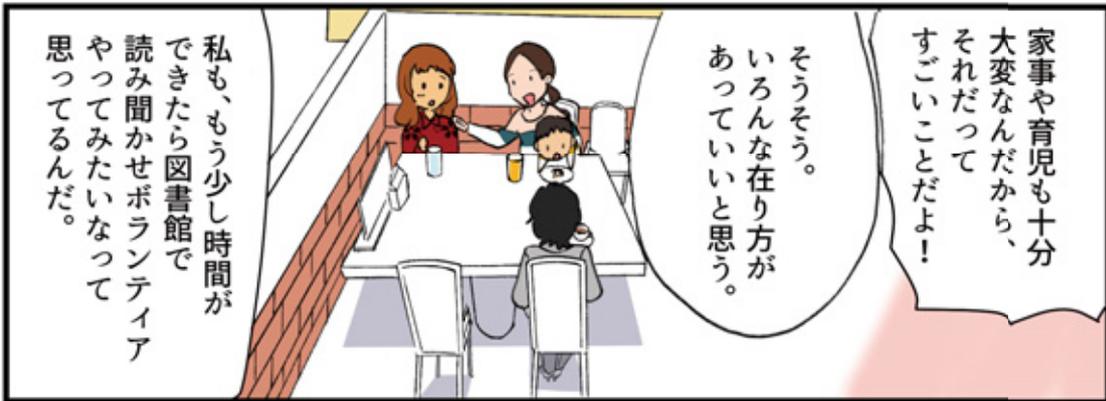
※6 二次被害…DV被害者等が、相談などで対応した人の言葉によってさらなる被害を受けてしまうこと。



3 考えてみよう！身近な「男女共同参画」

(1) 女性の活躍





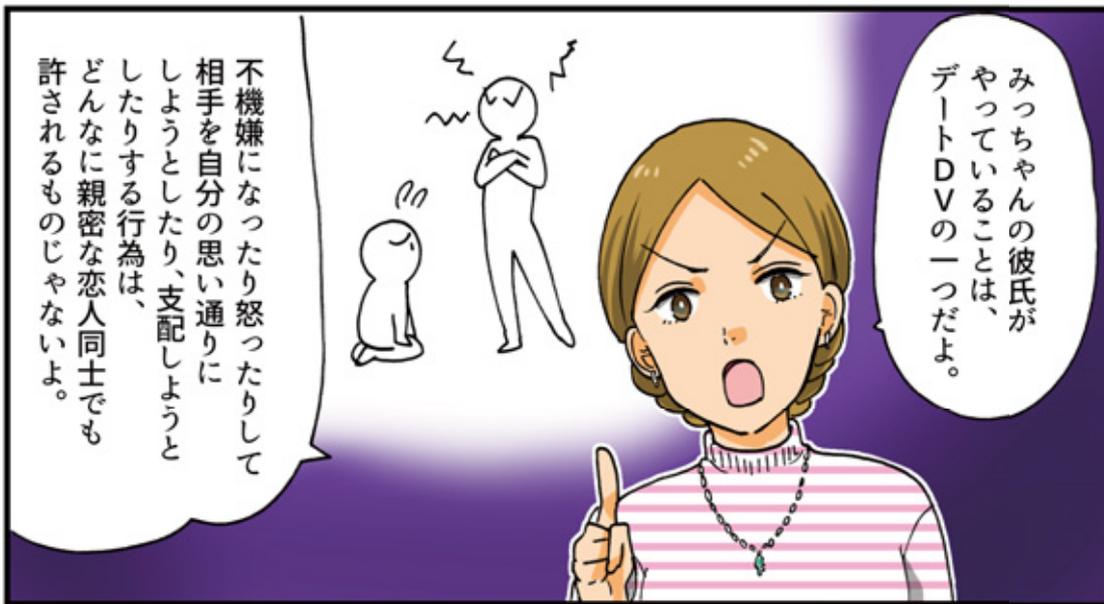
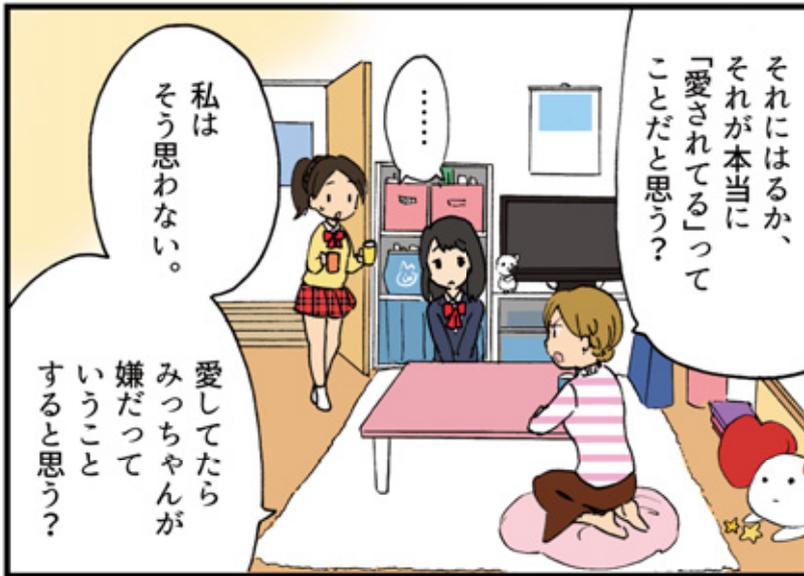
(2) 働き方の改革と男性の家庭参画





(3) デートDV

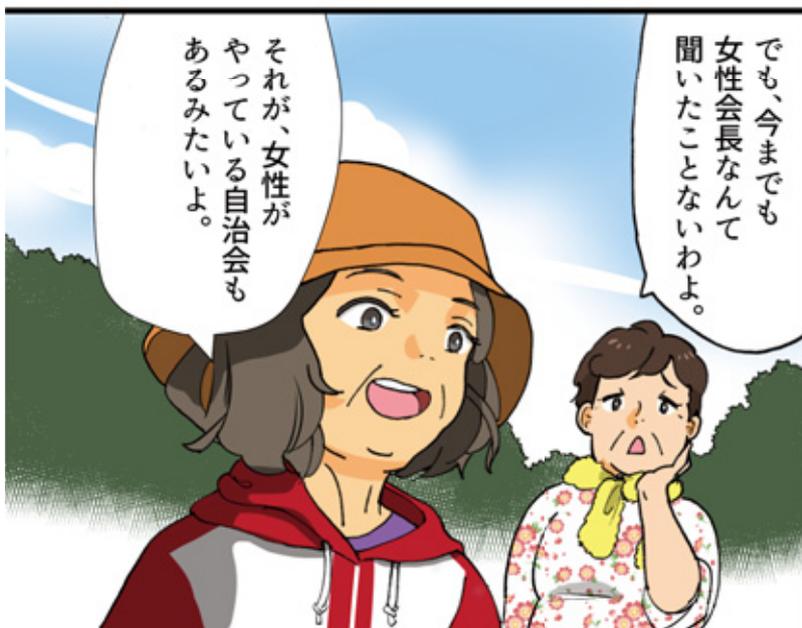




※デートDV…主に高校生や大学生などの若い世代で起こる、婚姻関係がない交際相手などの異性からの暴力のこと。



(4) 地域コミュニティでの男女共同参画





前例がなくても、今は地域活動だって男女一緒にやっているんだし、男性じゃなきゃいけないなんてことはないと思うよ。

でも、ここや周りの自治会でもまだ聞いたことないし、最初になるのってちよつと何言われるかわかんないよ。

みんなで協力して、うまくいってるんだって

そうなの？

まちづくり



考えてみるわ！

太田さん やってみる？



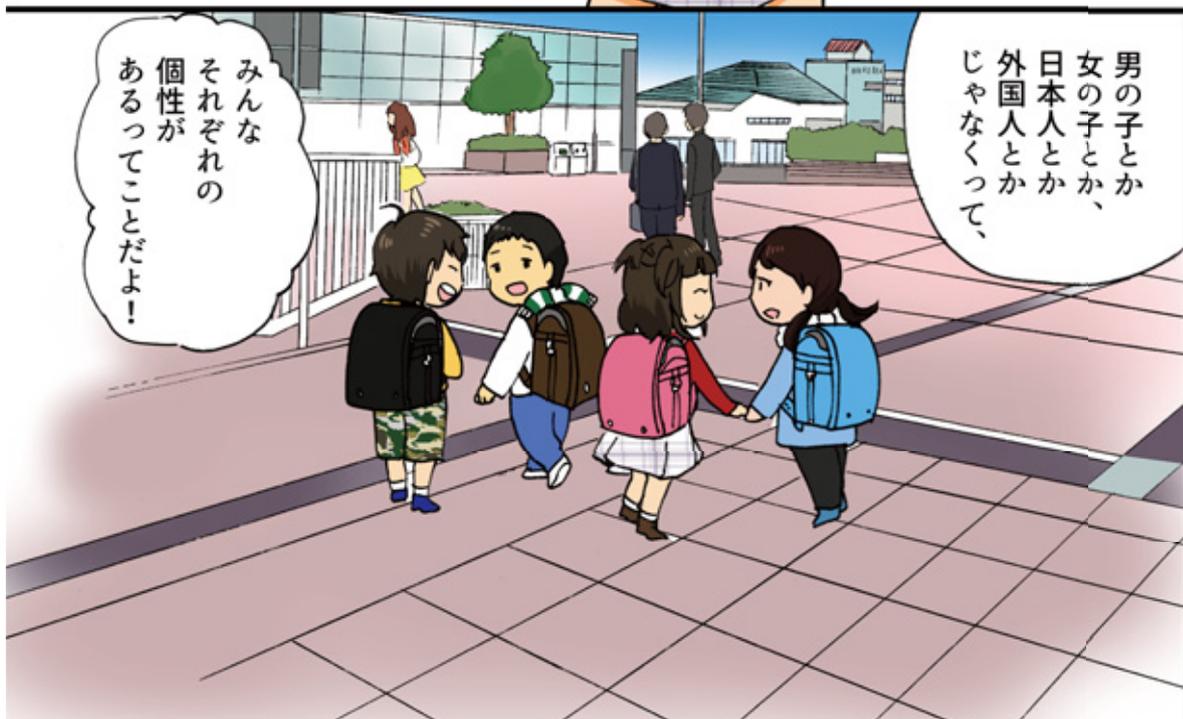
確かに、いろんな活動は一緒にやっているわね。



そういえば、私も「この活動はもったいなかったらいいな」って思うこともあったけど、そのままにしてたわ。町内会長になって、いろんな人の意見を取り入れる運営っていうのもいいかもね！

(5) 人権・多様性







私たちが実現させる「男女共同参画社会」

～安城市男女共同参画啓発パンフレット～

発行年月／平成30(2018)年3月

発行／安城市

編集／安城市 市民生活部 市民協働課

〒446-8501 安城市桜町18番23号

TEL／(0566)71-2218

FAX／(0566)72-3741

E-mail : kyodo@city.anjo.lg.jp